

# 社会福祉法人 コイノニア協会 児童養護施設 松山信望愛の家



ヒートポンプ  
給湯  
床暖房

贈呈理由 > 環境に配慮したエコキュートの導入により、省エネを実現



正面

社会福祉法人コイノニア協会は、1945年に太平洋地域大戦の松山空襲後、発生した戦災孤児を救済する施設「コイノニア弘済院」として設立された。1948年に「コイノニア協会」と名称変更し、児童施設を「養護施設松山信望愛の家」と命名して事業を継続した。その後、新たな児童養護施設や乳児院、さらには幼稚園など、児童に携わる福祉事業を運営している。

松山信望愛の家は、幼児から高校生までの児童が家庭的な雰囲気の中で社会人として自立するまでの養育施設であり、旧施設が築32年を経過し、老朽化が進み耐震面に不安が出てきたことから建て替えを決定した。

新施設の建設にあたっては、児童たちに家庭的な環境で養育する「家庭的養護」を重視し、できるだけ小規模での養育環境の形態に変えていくこととした。また、児童たちが安全で安心な生活ができる環境に加えて、省エネルギー・省コストや防災対策にも注力した。その結果、養育単位を小さくした小規模グループケア施設とし、それぞれ個別建物を建設することが決定された。さらに、災害時における早期復旧

の観点からオール電化システムを採用し、給湯には環境にやさしいエコキュート、冷暖房には電気式空調に加えヒートポンプ式床暖房を導入し、CO<sub>2</sub>削減とランニングコスト低減が実現された。また、電化厨房導入により衛生管理も向上し、児童たちの食の安全性につながるなど、児童たちにとっても快適な生活環境が提供されている。

同協会は、今後も児童たちの人権を擁護し、それぞれの個性を尊重しつつ養育を行い、社会人として自立した生活ができるように、保育士、指導員、栄養士、調理員のすべての職員が全力を尽くして支援していくこととしている。



外観



床暖房



エコキュート

## 児童養護施設 松山信望愛の家

所在地：愛媛県松山市久万の台251番地I  
 建築設計：(株)鳳建築設計事務所  
 建築施工：(株)一宮工務店  
 蓄熱設備設計：(株)鳳建築設計事務所  
 蓄熱設備施工：(株)四電工  
 延床面積：1,848㎡  
 竣工：2017年（新設）

### ■蓄熱設備概要

エコキュート 550ℓ×10台・460ℓ×2台・  
 370ℓ×2台 [三菱電機]